令和７年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２５００９

プロジェクト名：網代の豊かな自然と人との縁に竹灯りを

プロジェクトの概要

静岡県熱海市網代をフィールドとし、網代の竹を使った地域振興活動を行う。また、活動は今年度で３年目となり、より日本大学を知ってもらう点・今までの活動で得た知見を活かすことを目標として活動を行った。実際に今年度は、網代の「竹」という１年目の原点に立ち返り、網代のためになることを目標に活動を行った。また、講師に静岡県環境学習委員・環境再生医の小澤緑氏を招くことにより、自然的知見、イベント的知見の両方を補い活動を行った。

プロジェクトの結果・成果

今年度のプロジェクトでの最大の成果は、老若男女問わず、全世代がイベントに参加をしてくれたことです。下は２歳(本人談)から上は７０代まで。当初は子ども向けのイベントとして計画・実行したものの、簡単に制作できる点が功を奏し、多様な年齢・性別の方が参加をするきっかけとなりました。また、各回のイベント前には紙芝居を用いた自然環境のお話し(竹問題に関すること・小澤氏監修)を行い、多様な年齢に自然の適切な管理の必要性や使いながら管理するという方法を知るきっかけを提供しました。

イベントを通し、網代という地域の温かさを知ることができたことも成果の一つです。地方では、少子化や人口減少が進み、過疎化による空き家の増加や地域産業の衰退が起こっている現状があります。網代もその一つであり、かつては漁師町として栄えた網代でしたが、今現在は、熱海に漁師町といったイメージが移ってしまっています。人が少ないから閉鎖的かと言われるとそうではなく、より人と人との連携、絆の強さが強い。そのような魅力を感じました。若者は進学や就職で地方から都会へと流出している現状があります。一方で、Ｉターンや Ｕターンといった地元に帰還し、就職をする若者も増えています。直接の成果とは言えないかも知れませんが、このようなイベントを継続的に行うこと、地域のコミュニティを絶やさないことこそが網代のような地域には必要であり、再興の一手であると考えます。

来年度以降、大学の自主創造プロジェクトが継続する限り、私たちも網代にかかわり続けることで、より地域コミュニティを深めるだけでなく、私たち大学生がこの問題に触れる貴重な機会となるであるであろう。最後に、今年度以降もこのプロジェクトの継続を切に願い、成果とする。

活動写真

集合写真



笑顔のメンバー



紙芝居の様子



最年少参加者

